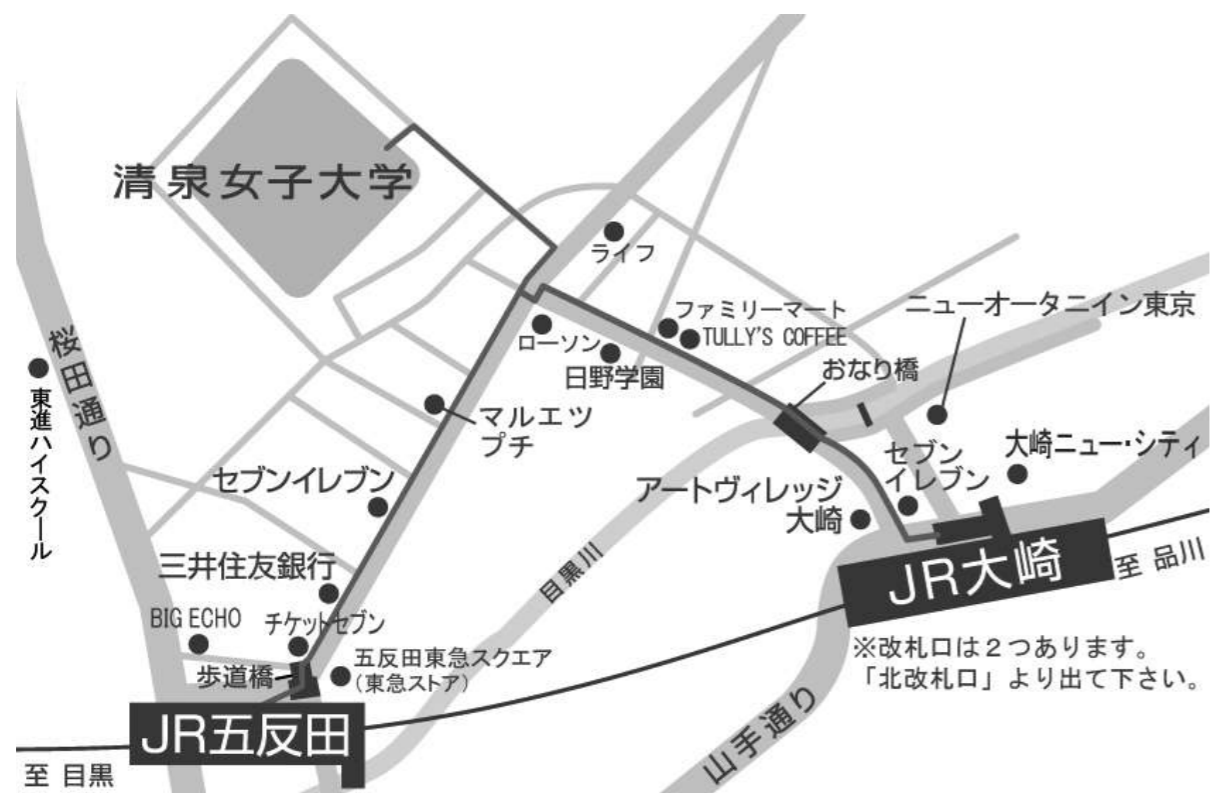


■ 清泉女子大学

〒141-8642 東京都品川区東五反田3-16-21



- ▶ JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線「五反田」駅から徒歩10分
- ▶ JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン、りんかい線、相鉄・JR直通線「大崎」駅から徒歩約10分
- ▶ JR山手線、京浜東北線・東海道線・横須賀線・上野東京ライン(宇都宮線・高崎線・常磐線)、京浜急行線、東海道新幹線「品川」から徒歩15分、または「品川」から「五反田行」バスにて「東五反田3丁目」下車徒歩5分
- ▶ 都営地下鉄浅草線「高輪台」駅から徒歩約10分

日本比較文学会
第62回 東京支部大会

主催：日本比較文学会東京支部

開催日時：2024年10月19日(土)

会場：清泉女子大学

一般来場可

JCLA

日本比較文学会東京支部

事務局住所

〒411-8588 静岡県三島市文教町1-9-18

日本大学 国際関係学部 三島駅北口校舎 607研究室(宗形賢二)

TEL. 055-980-1924 E-mail: hikaku.tokyo@gmail.com



2024年度
日本比較文学会 第62回 東京支部大会 プログラム



総合司会：清泉女子大学 和田桂子

11:00 幹事会(2号館3階232教室)

議長：静岡大学 堀江秀史

12:00 受付開始(開会式会場前)

12:30 開会式(2号館4階240教室)

開会の辞：東京支部長代行・日本大学 宗形賢二

会場校挨拶：清泉女子大学長 佐伯孝弘

12:45~14:30 研究発表 ※12:45~13:20/13:20~13:55/13:55~14:30

[A室] (2号館2階220教室)

1. 近代フランスにおける一つの翻訳史観

— ジャン=ジャック・アンペールをめぐる —

東京大学(院) 菊田怜央

司会：千葉大学(名誉教授) 西村靖敬

2. 1840年代におけるショパン、サンド、ミツケヴィチの思想的交錯

— 幻想曲群と小説との比較から —

早稲田大学 松尾梨沙

司会：静岡大学 安永 愛

[B室] (2号館2階221教室)

1. 漱石『文学論』における「同感」(sympathy)の概念を巡って

— ランドーとテニソンの「ゴダイヴァ」を
題材とする作品の修辞を中心に —

上智大学(院) 福島君子

司会：東海大学 堀 啓子

2. 「トカトントン」における太宰治の『マクベス』受容

専修大学(非常勤) 宮澤信彦

司会：元日本大学 福島 昇

[C室] (2号館3階231教室)

1. 「対立」と「協力」との交錯

— 池田みち子「国際都市」における

経済統制下の日本人「小商人」の表象 —

筑波大学(院) 蔡 夢慧

司会：国士舘大学 藤田梨那

2. 日中近代文学における珈琲店の「女給」の表象

フェリス女学院大学(非常勤) 邱 月

司会：国士舘大学 藤田梨那

3. ブラジル俳句文化の再創造と新展開

— 1300年にわたる日本詩歌史に照らしつつ —

愛知県立大学(名誉教授) 久富木原玲

司会：静岡大学 花方寿行

14:40~17:45

◆講演(14:40~15:40) 2号館4階240教室

石牟礼道子文学と音の世界

元清泉女子大学教授 ブルース・アレン

◆シンポジウム(15:40~17:45) 2号館4階240教室

比較文学とエコクリティシズム — 〈汚染〉をめぐる多文化的対話 —

司会・発表：東洋大学 信岡朝子

・エコクリティシズムの可能性と限界

— 汚染をめぐる〈当事者〉と多重周縁性 —

東洋大学 信岡朝子

・核と環境汚染

— セミパラチンスク・チェルノブイリ・フクシマ —

日本大学 安元隆子

・毒を喰らわば

— 立松和平『毒』と石牟礼道子『苦海浄土』の汚染表象 —

筑波大学 五月女颯

17:50~18:20 総会(2号館240教室)

議長：日本女子大学 内山加奈枝

18:20 閉会の辞

元日本大学 椎名正博

18:30 懇親会

会場：2号館1階 ラファエラホール

司会：日本大学 芳賀理彦

会費：5,000円(学生 3,000円)

法政大学(非常勤) 蒔田裕美

※懇親会参加予定の方は9月30日までに事務局にお申込みください。申込みフォームは後日メールで送信いたします。